

片平まつり2015を開催しました(2015/10/10-11)

テーマ：東北大学附置研究所等一般公開(片平まつり 2015)

URL：<http://www.katahira-f.tohoku.ac.jp/2015/>

場所：災害科学国際研究所(東北大学青葉山新キャンパス)

2015年10月10日と11日に東北大学片平キャンパス、星陵キャンパス、青葉山新キャンパスにおいて附置研究所等一般公開(片平まつり2015)が実施されました。災害科学国際研究所は、前回の2013年より参加しており、今回が2回目となりますが、青葉山新キャンパスにおける実施は今回が初の試みとなりました。

各部門より、①免震ってなあに？②トイ・トレインであそぼう！③地震を体験！④多次元可視化システムを体験しよう！⑤地球の中をのぞいてみよう！⑥みて、さわって、かんがえてみよう！／地震・津波を考える⑦ほうしゃせんをさがそう！⑧みちのく震録伝⑨仮想空間に入ってみよう、という小学生を含む一般来場者にも分かり易く楽しめる展示が実施され、当研究所の研究者らによる研究内容を広くまた分かり易く広報する良い機会となりました。

見て触れて体験出来る展示に加え、来場者にバッジを配る着ぐるみの「バッジマン」が登場し、会場は大いに盛り上がりました。

特別企画として、初日10日(土)の午後には、シンポジウム・ネパール地震調査報告会を開催し、当研究所所属教員から現地調査の結果を発表しました。また、ネパール駐在中のJICA東北支部 永見光三氏とサテライトで結び、現在の様子等をご報告頂きました。報告会の様子は翌日朝のNHKニュースにも取り上げられました。2日目11日(日)の午後で開催された、今村文彦所長による特別記念講演「生きている地球と災害」では、大地震や津波がどのようにして発生するのか、それら自然の活動に対して被害を生じないためにはどうしたら良いかについて分かり易い解説がありました。会場からは、小学生の参加者からの元気な質問に加え、一般参加者からも熱心な質問が多数寄せられるなど盛会でした。



災害研究会と報告会の様子

文責：五十子 幸樹 (災害リスク研究部門・片平まつり企画展示WG委員長)